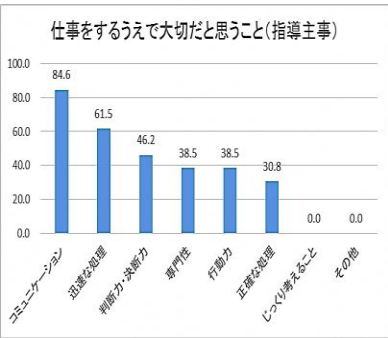


※文字の大きさは Meiryo UI / 12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。
※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A 3 用紙片面におさまるように作成してください。
※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 2】

研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート ※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、<award@ml.nits.go.jp>宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。	※事務局記入欄 受理No. : B-30
【学校名・氏名】川越市教育委員会 川越市立教育センター・嘉手川 満	【応募部門】 働き方改革実践部門
【修了研修名】平成30年 第1回 副校長・教頭研修	
【活動名】見方・考え方を広げよう コミュニケーションで働き方改革	
解決すべき課題：※活動を行う前に、どんな課題設定をしましたか？ 課題『一人一人が「コミュニケーション」を意識し行動することで、見方・考え方を広げられるようにする』 中核市である川越市は、川越市教育委員会が主体となって教職員研修を実施しており、企画・運営に携わる指導主事の役割は大きい。主に、教育センター所属の指導主事とその役割を担っているが、毎年 1 / 3 程度、人員が異動となり、新しい指導主事が入ってくる。学校現場にいた者が、教育委員会事務局で、新たな仕事を受け持つことになるが、仕事を進めていく上で、上司や複数年経験している指導主事との、報告・連絡・相談が欠かせない。経験のあるなしにかかわらず、「コミュニケーション」を大切にしたいと考えている指導主事は多く（下記調査参照）、「コミュニケーション」についてさらに意識することで、新たな見方・考え方を獲得でき、課題を改善し、仕事も円滑に進められるものと考える。 また、令和元年度、初任者に対して講義する機会があり、初任者も、初任者同士のみならず、様々な方との「コミュニケーション」を意識し、1 年間の研修を通して、見方・考え方を広げてほしいと感じている。 そこで、教育センター指導主事及び初任者を対象に、上記の課題を設定した。	
目標・方針：※課題を解決するためにどんな目標や計画、戦略や方針をたてましたか？ 1 「コミュニケーション」を意識する活動を通し、教育センター指導主事が互いの見方・考えを理解し、仕事を円滑に進めるとともに、研修担当として意欲的に活動することができるようにする。 （1）指導主事の意識調査 （2）「コミュニケーション」に関する資料の提供及び指導主事による実践 （3）研修を担当する際、各指導主事が大切にしていることをまとめ、フィードバック 2 初任者に対する講義の中で、「コミュニケーション」を意識させることで、自分自身の見方・考え方を広げる心構えを持つことができるようにする。 （1）「コミュニケーション」の役割について講義 （2）初任者同士で、互いの思いや考えを伝え合う場の設定 ※上記 1 及び 2 を行う上で、中央研修の講義『人材育成とコーチング』（別府大学 佐藤敬子教授）の内容を参考にする。	
活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。 1 - （1）指導主事の意識調査 ※対象 13 名 主に 2 点のことについて、調査した。 ①仕事をする上で、大切だと思うこと。 ※ 3 つ選択（右表参照） ②研修を担当する際、大切にしていること。 ①については、「コミュニケーション」を大切だと考えている者が多く、この点をさらに意識させることが必要だと考えた。また、②については、各自の考えに多様性があり、どれも大切な考えであったので、見方・考え方を広げる一手段として、フィードバックすることにした。 ※ 1 - （3）	仕事をするうえで大切だと思うこと(指導主事) 

1 - （2）「コミュニケーション」に関する資料の提供及び指導主事による実践

【資料 1】 コミュニケーションは「長さ」より「回数」である。

※コミュニケーションの基本は「2 往復以上」。短くても、日頃からいろいろな方と 2 往復以上のやりとり、つまりコミュニケーションをとることが大切。

【資料 2】 「きく」とは

聞く…きこえている 訊く…自分のためにきく 聴く…相手のために、一生懸命きく

→「聴く」ことで、相手の「気」持ちが、こちらに「来る」「気来」きく

以上の資料を指導主事に示した。また、「コミュニケーション」「聴く」ことを意識して過ごし、1 週間後に自分自身を振り返る活動を行った。

1 - （3）研修を行う上で各指導主事が大切にしていることをまとめ、フィードバック

指導主事が大切にしていることで回答が多かったのは、一方的な講義にならないように、「受講者が、主体的に参加できるようにする」「受講者同士が交流する場面をつくる」ことであった。また、そのような研修を創りあげていくためには、「受講者のニーズの把握」や「講師と研修目的の確認」が必要と捉えている。さらに、「研修の目的（ねらい）の達成」を大切にしており、「受講者にも目的（ねらい）を明確にする」とともに、「研修の流れを示し、見通しを持たせ」ている。活動後は、「目的（ねらい）に即して振り返り」を行っている等の意見が出された。各指導主事の意見をひとつにまとめ、見方・考え方を広げるために、各指導主事にデータを送付し、指導主事がその内容を読んで感想をまとめる活動を行った。

2 - （1）「コミュニケーション」の役割について講義

第 2 回の初任者研修において 1 - （2）と同様、「コミュニケーション」及び「聴く」ことの大切さについて講義をした。実際に、初任者同士で相手の話を「聴く」、「コミュニケーション」（2 往復以上の会話のやりとり）をしながら自己紹介をした。



2 - （2）初任者同士で、互いの思いや考えを伝え合う場の設定

講義の中で、「自分をみつめてみよう」と題し、ワークシートを配布した。ワークシートには、「教師になりたいと思った理由」「将来どのような教師になりたいか」「子供たちに一番伝えたいことは何か。なぜ、それを伝えたいのか」「自分のよさ」について記入した。2 - （1）で行ったことを生かし、「コミュニケーション」をとりながら、初任者同士でワークシートの内容を伝える活動を行った。また、男の子が登校できないでいる 1 枚の絵を見せ、登校できない理由について考え、発表する活動を通し、様々な考えがあることに気付かせた。



活動の成果： ※それによって、どんな成果が得られましたか？

【目標・方針 1】…「コミュニケーション」「聴く」ことを意識することで、始める前と後でどのように変わったか尋ねたところ、「理解と協力を得られ、雰囲気や和み、仕事の円滑さが向上したと感じるようになった」、また、左記の「指導主事の意識調査」にあった項目のうち、「判断力・決断力」「正確な処理」「行動力」「専門性」にも効果があった、と回答している。「研修を担当する際、大切にしていること」についても、一人一人の考えを各自が知ることで、新たな発見があったり、考え方が同じ意見を読み、自分の取り組みに自信を持ったりすることができた者もいた。

【目標・方針 2】…初任者が、積極的に様々な方と「コミュニケーション」「聴く」ことを意識し（66.1%）、「見方・考え方を広げていきたい」（53.6%）と感じることができた。その他にも、「目的意識を持って取り組みたい」「主体的に研修を行っていききたい」「研修への意欲を持つことができた」という者もいた。

アピールポイント（アイディアや工夫）： 短時間で、「コミュニケーション」の効果を実感できる。単発で終わらすのではなく、今後も、機会がある度に「コミュニケーション」や「聴く」ことについて話をし、一人一人がさらに見方・考え方を広げ、自信につなげられるようにしていく。